（1962年3月7日 第3種郵便物認可）西鉄組合新聞　（毎月1日発行）

Nishitetsu Kumiai Press

2022.8.1　Vol.1730　8月号

西鉄組合新聞

【発　行　所】福岡市中央区大手門1丁目4番16号
TEL092-771-2931　西日本鉄道労働組合
【編集発行者】川瀬 直之
定価 1部 30円 送料共（この新聞は組合費の中から購読料を徴収しています。）
西鉄労組ホームページ（http://nnr-u.org）▶

1面　「つじもと清美」準組織内候補、当選！
1面　「佐々木徹」福岡県議、擁立決定（第10中）
1面　古賀孝治氏（早良）当選、地連役員選挙

1面　ハラスメントについて学習、青女協
2面　私鉄総連「第89回定期大会」
2面　分会トピックス（柳乗・宇美・壱岐・片江）

第26回参議院議員選挙　祝当選！　準組織内候補「つじもと清美」

組合員の想いを背に国会へ舞い戻る

第26回参議院議員選挙は、7月10日、投開票を迎え、私鉄総連準組織内候補「つじもと清美」氏は、全国比例区で428，859票を獲得し、立憲民主党の1位で当選を果たした。今後、私鉄総連組織内議員「森屋隆」氏とともに、私鉄の政策・制度要求の実現に向けて活躍することが期待される。また、福岡県選挙区では、西鉄労組組織外推薦候補「古賀ゆきひと」氏が438，876票を獲得し、2期目の当選を果たした。

当選直後の「つじもと清美」氏

※選挙結果を受けて、「つじもと清美」氏は、「私鉄で働く仲間の皆様へ」として、メッセージ動画を公開しています。QRコードから是非ご覧ください。

おことわりとお願い

公職選挙法に抵触するため、今回の参議院議員選挙における様々なご支援やご協力に対して、紙面を通して御礼をお伝えすることができません。ご了承ください。組合員の皆様・ご家族の皆様におかれましては、今後も、西鉄労組の政治活動に対してご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。【政治部】

【第26回参議院議員選挙　推薦候補者結果】

選挙区	候補者氏名	所属政党	歴	得票数	定数	順位	当落
比例区	つじもと清美	立憲民主党	新人	428,859	7/20	1	当選
福岡県選挙区	古賀ゆきひと	立憲民主党	現1	438,876	3/16	2	当選

第10回中央委員会

■開催日：7月20日（水）
■場　所：組合本部

「佐々木徹」福岡県議擁立決定　運動方針（案）オルグ始まる

7月20日、組合本部で、第10回中央委員会を開催し、中央委員・特別中央委員ほか約60名が出席した。冒頭、古賀執行委員長は、第26回参議院議員選挙の取り組みに対する組合員の尽力に謝意を示し、「職場からの声を国会に届け、政策議論を進めていきたい」と述べた。議事では、2023年4月施行予定の福岡県議会議員選挙において準組織内議員である「佐々木徹」氏の擁立を決定するなど、すべての議案を満場一致で決定した。また、説明事項として、「西鉄労組2022年度運動方針（案）・予算（案）」を示し、翌21日より、職場オルグを開始した。組合員一丸となって2022年度の運動を展開していくためにも、感染症対策を徹底したうえで積極的なオルグ参加をお願いしたい。

※決議内容の詳細は「かべ新聞第10号」参照（分会掲示板、イントラネットの西鉄労組掲示板に掲載）

会議風景

2022年度運動方針（案）

福岡県議会議員選挙　準組織内候補予定者
（2023年4月施行予定）

佐々木徹　ささきとおる

【選 挙 区】福岡市東区
【所属政党】立憲民主党（現5期）
【生年月日】1958年1月28日（64歳）
◎私たちの職場や生活を守るために、議会に私たちの声を届けてくださる議員です！

《地連役員候補選挙結果》古賀孝治氏（早良）―無投票当選―

7月14日、組合本部で、地連役員候補選挙の受付を実施したところ、古賀孝治氏（早良）から立候補の届出があり、他に立候補の届出がなかったため、選挙規程第34条に基づき、無投票当選が確定した。

【本部選挙管理委員会】

※詳細は、「候補者氏名公示」参照。選挙に関する情報は、今後も、分会掲示板・イントラネットの西鉄労組掲示板に掲載する。

古賀孝治 氏（早良）

国物の総労働時間短縮に向けて労使協議

兼業対策部は、7月26日、神奈川県川崎市で、「第2回国際物流事業本部における労働時間短縮に向けた労使協議会」を実施した。前回の労使協議に続いて、時間外労働の実態把握と削減に向けた取り組みや、有給休暇の取得率向上に向けた検討、離職防止に向けた検討などを労使でおこない、課題を共有するとともに、解決に向けて引き続き協議を重ねていくことを確認した。

【組合側参加者】
本間副委員長、渡辺組織部長、北島兼業対策部長、佐伯分会長（東日本）、山下分会長（東京）、宗分会長（中央）、橋本分会長（名阪）、久保分会長（西日本）

青女協「男女平等参画セミナー」

■開催日：6月28日（火）
■場　所：組合本部

ハラスメントについて学習　「森屋隆」参議院議員も駆けつける

青年女性協議会は、6月28日、組合本部で、男女平等参画セミナーを開催し、各部門から50名が参加した。第1講座では、私鉄総連組織内議員である「森屋隆」参議院議員から活動報告があり、森屋議員が今後進めたい政策などについて質疑応答がおこなわれた。続く第2講座では、「安心して働ける職場へ」と題し、ハラスメントに関する学習会と分散会をおこなった。参加者からは、「森屋議員が私鉄の声を国会に届けてくださっていることが実感できた。選挙に参加し、興味を持つことが大事だと感じた」「久しぶりのグループ討議で、他の職場の意見を聞くことができて良かった」といった声があがった。

【青年女性協議会事務局】

討議風景

男女平等参画セミナーに参加して

「森屋隆」議員の活動、その重要性を再認識

（博多分会）
盛滿　朋博

「森屋隆」参議院議員の話を聴いて、私たち私鉄組合員の声を政治に届けていただいている活動が、とても重要なことだと感じました。国会で、私たちの職や生活を守る活動をしてくださっていることに感謝し、応援の気持ちが強くなりました。また、「ハラスメント」に関するグループ討議では、職種が異なる方々と意見を出し合うことで、様々な考え方を知ることができて新鮮でした。職場に持ち帰って、他の青年女性組合員にも共有したいと思います。

男女格差、ハラスメントなど、多くを学ぶ

（筑紫乗務分会）
吉田　翔

セミナーの中で、憲法に男女平等がうたわれているにもかかわらず、政策・意思決定への女性の参画率の低さ、男女間の賃金格差、育児・家事に参加する男性割合の低さなど、多くの問題があるとの説明を聞いて、女性だけでなく男性にとっても重要なことだと改めて感じました。ハラスメントに関する講座では、自分の主張を第一優先にせず、相手の意見も聞いたうえで判断するという方法を学びました。これらの経験をセミナーに参加できなかった職場の方々と共有し、少しでも男女が互いに人権を尊重できる環境になれば良いなと思います。

組合本部　8月スケジュール

◆9日（火）…事務局会議
◆10日（水）…医療共済幹事会
◆18日（木）…執行委員会
◆23日（火）…医療共済幹事会
◆24日（水）…中央委員会
◆25日（木）・26日（金）…会計監査
※急遽変更となる場合があります。

私鉄総連「第89回定期大会」

■開催日：7月13日(水)・14日(木)　■場　所：長野県長野市

2022年度運動方針決定

私鉄総連は、7月13日・14日、長野市で「第89回定期大会」を開催し、全国各地から700名を超える私鉄組合員が結集。西鉄労組からは、古賀委員長をはじめ、8名が出席した。

初日は、10日の参議院議員選挙で当選を果たした準組織内「つじもと清美」氏が駆け付け、出席者全員で当選の喜びを分かち合った。翌14日は、2022年度運動方針（案）の質疑がおこなわれ、代議員と総連執行部との間で白熱した議論が展開された後、満場一致で方針を決定した。議論の中では、西鉄労組から鞭馬代議員（自動車対策執行委員）と福田代議員（電気）が質問に立ち、総連の見解を質した。

【出席者】
古賀委員長、本間副委員長、渡辺組織部長、鞭馬自動車対策執行委員、池田分会長（那珂川）、福田分会長（電気）、堀江分会長（本社事業）、増田女性委員（宇美）

定期大会の風景

【2022年度運動方針】質疑応答（概要）

D 交通政策取り組みと業種別対策の課題

鞭馬代議員（西鉄）

自動化、無人化が加速する一方、緊急時や事故発生時の対応など、課題は山積している。バス運転者の高齢化は進み、健康に起因する事故リスクも高くなっている。路線バスに対する安全装置など、安全に対する取り組み、考えを聞かせていただきたい。

総連執行部

自動化・無人化導入の話がある場合は、労使でも事前協議制のもとで対応をはかっていただきたい。私鉄総連としても情報共有などに努めていく。路線バスに対する先進安全技術は、車両価格なども高騰していることから、補助の拡充を強く求めていきたい。

福田代議員（西鉄）

鉄軌道関係について、安心・安全な鉄道の概念を根底から覆す事件が相次いでいる。防犯対策は喫緊の課題で早急な対応が必要である。今後の対策を聞きたい。

総連執行部

防犯対策については、全ての公共交通に関わることで、これまでも求めてきた。一度犯罪が起こると利用者に恐怖を与え、築き上げてきた信頼が崩れてしまう。引き続き支援を求めていくとともに、啓発活動も取り組んでいく。

組織内「森屋隆」参議院議員挨拶（要旨）

「2割の壁」を打ち破る

3年がかかったが、岸田総理から公共交通が果たすクロスセクター効果について、松野官房長官から交通運輸労働者の処遇改善について、言質を取ることができた。したがって、私は今後の3年間で、全国の仲間のみなさんといよいよ実を取りにいきたいと思っている。

私たちの最大の課題は、全産業と比較をして2割長い労働、そして2割低い賃金、さらにはこのままいけば2割の利用客が戻ってこないといわれている。この私たち最大の課題である「2割の壁」を打ち破るということを掲げて、全国のみなさんとワンボイスで発信し、3年かけ、いよいよ実を取っていきましょう。

今、私たちの産業は、本当に厳しい状況に置かれている。辻元さんとともに実をとっていく、このことを私は誓いたい。

公共交通が持続可能な社会共通資本として、その役割を果たせるよう、そして交通運輸産業で働く者の処遇改善がいち早くはかれるよう、辻元さんと両輪で頑張っていく。

準組織内「つじもと清美」氏挨拶（要旨）

多くの課題に即戦力として尽力

まず、はじめに、心から感謝を申し上げたい。この選挙、皆様なしでは、立っていることもできないぐらい厳しい選挙だった。しかし、皆様に共にたたかっていただき、428，859票をいただいた。これは公共交通をしっかり守っていくための、皆様の票である。新たに、日本に住む全ての人たちの生活や経済や社会を支えるために、誇りを持って皆様と一緒に頑張っていきたい。待ったなしの政治課題がたくさんある。私は、即戦力として、すぐに仕事を開始していきたいと思っている。

私は、この5ヵ月、現場から多くの皆様に学ばせていただいた。生の声をいただくことが、これほど大事だということを実感した。私は生まれ変わった気持ちで、本当の意味で私鉄の皆様の仲間にしていただけた、たかいだったと思っている。

そして今日から、もう一つのスタートがある。3年後の、森屋組織内議員の勝利をしっかりと勝ち取るために、私も皆様とともに、この御恩返しができるように、今日から新たにスタートをしていきたい。

※私鉄新聞7月25日号より抜粋

総連大会に参加して

当選した「つじもと清美」氏の挨拶に感動

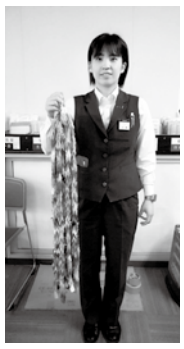
（那珂川分会）
池田　幸一

第26回参議院選挙で見事、当選した「つじもと清美」さんが、感謝の気持ちを胸に、私鉄の仲間たちへ挨拶がありました。選挙の厳しさ、これから期待に応えていかなければならない気持ち、様々な話を聞き、感動さえ覚える挨拶でした。また、3年後に控える参議院選挙では、組織内議員「森屋隆」さんの選挙となります。比例での当選の難しさを知り、前回以上に頑張らないといけないと感じました。総連の定期大会は、初めての体験でスケールの大きさを感じました。多くの意見、訴えがあり、皆さん気持ちを込めて発言していることに圧倒されました。とても良い経験になり、今後の組合活動に活かしていきたいと思いました。

分会トピックス

平和を願う千羽鶴　柳川乗務分会

柳川乗務分会は、連合福岡の取り組みで、毎年8月に開催される「平和行動長崎集会」の参加にともなって、千羽鶴の作成をおこないました。昨年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりましたが、今年は開催されるということで、組合員で協力して一つ一つ丁寧に作成しました。この千羽鶴は、長崎もしくは広島の記念式典、または記念公園などに献納していただく予定です。こういった行事を通して、日本だけではなく世界の平和を強く願っています。未だに猛威を振るう感染症の影響で活動が制限される中、出来ることを模索し、真摯に組合活動に取り組む柳川乗務分会です。



【教宣部長　加藤　潤】

感染対策、「提出物用ポスト」を設置　宇美分会

宇美分会では、コロナ禍で組合員さんとの交流が限られている中、様々な組合活動をするにあたって、分会関係の提出物などを役員と直接接触しなくても提出できるようにするためのポストを新たに設置しました。今後も、組合員みんなのためになる分会活動を、分会役員が一致団結して頑張っていきます。

【教宣部長　柳井久尚】

「足踏み式消毒スタンド」を設置　壱岐分会

壱岐分会では、事務所や乗務員控室、お客様出入口など数カ所に「足踏み式消毒スタンド」を設置しています。この装置は、乗務員歴36年9ヵ月、その後マスターを経て現在指導員などで活躍中の若松隆之さんの手作りです。組合員の皆様にコロナに負けて欲しくないという切実な思いと、またお客様にも安心してご利用いただけるようにとの思いで製作してくださいました。スタンドに飾られた人形たちは、少しでも癒やしになればとのことです。壱岐分会は、これからも皆で協力し、コロナにも負けず頑張ってまいります。

【教宣部長　堺　博史】

独自の感染予防対策を実施　片江分会

新型コロナウイルス感染症の第7波が急拡大し、新規陽性者数が急激に増加している中、片江営業所では、独自の感染予防対策として、アルコール検知のマウスピースを使い捨てのストローに変更しました。また、乗務員控室にはアルコール消毒液を常備し、うがい薬機の利用を呼び掛けるなど、感染予防対策に積極的に取り組んでいます。

JR九州や沖縄のバス会社では、感染拡大で運行に必要な乗務員が確保できず、減便や運休を余儀なくされています。このような状況にならないよう、片江分会では、一人ひとりがしっかりと感染予防対策に取り組んでいきます。

【教宣部長　本田　啓】

質疑応答で、多くの声を聞き、勉強に

（電気分会）
福田　顕教

代議員として初めて参加しましたが、新型コロナウイルス感染症の再拡大により感染防止対策の徹底を図りながらの開催でした。来賓には第26回参議院議員選挙にて当選した準組織内候補「つじもと清美」国会議員より挨拶があり、全国各地で苦しんでいる皆さんのために一生懸命頑張って国政へ思いを届けていくという力強い言葉が聞けました。運動方針(案)の質疑応答では、各労組が抱えている問題について多くの声が上がり、討論を聞けて大変勉強になりました。この貴重な経験を今後の活動に活かしていきたいと思います。

皆で、同じ方向を向いて取り組みを進める

（本社事業分会）
堀江　真広

初めて総連大会に参加させていただきました。2日間の大会の中では、全国から集まった私鉄の仲間たちから様々な声があがり、とくに運動方針（案）に関し熱量のある活発な議論がおこなわれました。人口減少や人手不足、新型コロナウイルス感染症の影響などから、兼業部門も含め全国の交通事業者は困難に直面しています。その中でも全国の私鉄の仲間たちで同じ方向を向いて取り組みを進めていくことが、組合員の生活のみならず公共交通や地域の暮らしを守ることにも繋がっていくのだと感じた大会でした。